

意見交換会実施報告書

開催日時		平成24年 6月 4日 午後7時30分 ～ 午後9時00分
開催場所		中田農村環境改善センター 多目的ホール
出席議員		代表者 佐藤 勝 司会者 中澤 宏 報告者 田口 久義 記録者 庄子 喜一 金野 静男 関 孝
参加市民数		11人
実施内容報告	議会報告	●合併後の議会運営における主な変化 ○会派が結成され、第1回定例会（当初予算審議）で代表質問を実施。 ○賛否が分かれた議案の採決結果（議員一人ひとりの賛否）を議会だより、ホームページに掲載。 ○疑義のある議案の否決や不認定、修正案提案などの確な意思表示。 ○常任委員会活動、特別委員会活動など議会活動の活性化。（大震災をうけ、東日本大震災調査特別委員会が23年4月12日設置された。） ●最近の議会における目玉となった議題 ○防犯灯LED化事業、コンビニ証明事業予算について、審査の過程で議会の理解が得られないとの執行部判断により、削除する予算案の訂正が提出されたが、議会の主体性を示すべきとのことから否決。議員の動議による修正案を可決した。 ○「まちづくり基本条例」「景観条例」の制定。 ○介護保険料の引き上げについて。 ○放射能汚染稲わらの処理問題について。 ●平成24年度の主な事業と予算、東日本大震災調査特別委員会の調査内容、常任委員会活動の概要は資料のお目通しを願った。 Q 議員提案による条例の制定はあったか。 A 議会基本条例の提案や議員報酬、費用弁償の削減などがある。 Q 「まちづくり基本条例」「景観条例」制定にあたり、アンケート調査など、市民の声は聞いたのか。 Q 議会における目玉となった議題の中に、3.11の東日本大震災の話題が無いが、被災者支援が希薄になっていないか。 A 東日本大震災調査特別委員会を設置し、分科会や常任委員会で議論し、執行部と一体となり対策を講じてきたが、本日の資料の記載に課題があり大変申し訳ない。被災者の生活支援は、国の制度、補助によるところが大きいですが、被災者支援制度の活用が遅れたことから、議会からの提案で、作業所やブロック塀の解体支援が実現した。また、住家、被住家の解体支援の期限延長も実態をふまえ議会からの提案である。
		Q 税の徴収ミスの原因は。 A 昨年より、システムの業者が変更となった。データの移行において、入力ミス、コンピュータの誤作動が原因と考えられる。

意見交換	Q システムの業者はどのように決まったのか。 A 選定委員会において、プロポーザル方式により決定された。 Q 被災者支援について、公団型仮設（定住促進住宅）に網戸を付けてと、担当に話したところ、「お金が無いので、自分で付けてほしいと」言われた。仮設プレハブの支援は手厚いが支援に差があるのか。 A 一般入居者との公平性の課題が考えられる。確認し報告したい。 Q 情報の広報手段について、防災無線は聞き取りにくく、1回放送である。はっとFMは入らない。インターネットが無く、ホームページも見られない。 A 防災無線については、デジタル化が検討されており、どういう方法が良いかを総務企画委員会で行政視察するなど研究している。FMについても全地域に聞こえるようにするにはどうしたら良いのか調査費を計上し、事業者に委託調査中である。 Q 職員の再教育が必要だ。 電話に対する守秘義務が履行されていない。着信履歴から電話番号を許可なしに使われた。 職員が勤務中ガムをかんでいたり、せんべいを食べていた。 酒の量販店やホームセンターに公用車が駐車しているが、運行管理はどうなっているか。 A 時に応じて議会でも指摘している。公用車については運行管理者を置き、運行管理台帳により管理されている。公用による買い物と思われるが、誤解されないよう注意を促したい。 Q 地域を見回すと高齢化が進んでおり、空き家やひとり暮らし世帯が増え将来が不安である。行政においても前年、前例踏襲でなく、毎年、毎年中身を検討して対応してほしい。 A 高齢化社会は避けられない課題。行政と一体となり考えていきたい。
要望・提言等	○ 職員の服装について、クールビズが始まって以降良くない。公務員としてふさわしい制服の支給を考えてはどうか。 ○ 放射能汚染による健康被害が心配である。特に子どもたちの健康対策を議会にお願いしたい。
その他 特記事項	○ 参加者（女性）の提供により、会場内に花が飾られた。 ○ 七ヶ浜町議会議員2名が傍聴され、感想をいただいた。 議員は苦勞しているなあ。議会には執行権がなく、ただ聞き取るだけで「やる」と言えない。議会が一番つらいところを突かれている。議会が指摘される問題でなく、行政が指摘される問題がほとんど。市民がここまで言えることも素晴らしい。市民の話を聞いてもらえることも素晴らしい。 人数は少なくとも、意義ある意見交換会である。